

# FMV

B5FH-9721-01



**FMV-DESKPOWER**

# ご使用の手引き

---

**液晶ディスプレイ 17 ワイド TV**  
VL-17WVX2

  
**FUJITSU**



# はじめに

このたびは、弊社の液晶ディスプレイ 17 ワイド TV (VL-17WVX2) (以降、本製品と呼びます) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は FMV-DESKPOWER とのセット商品です。このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2003 年 9 月

## 安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルおよび『安全上のご注意』は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。  
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

## 注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

## 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。



本製品は JEITA 『PC グリーンラベル制度』の審査基準 (2003 年度版) を満たしています。詳細は、WEB サイト <http://www.jeita.or.jp/> をご覧ください。



本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がパソコン用ディスプレイとしての使用において国際エネルギースタープログラムの基準を満たしていると判断します。



## ■ 安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。




 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

## ■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、ホームページなどの画面例については、情報が更新され、画面の一部やメニューの項目などが異なる場合があります。

## ■ 本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 <b>重要</b>	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 <b>POINT</b>	知っていると便利なことを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。

## ■ 製品の呼びかたについて

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional	Windows XP

## ■ 『取扱説明書』について

富士通サービスアシスタントの「画面で見るマニュアル」内にある「液晶ディスプレイ 17 ワイド TV VL-17WVX2 取扱説明書」（以降、『取扱説明書』）には、より詳細な機能の説明などが記載されています。

取扱説明書を表示するには、キーボードの「サポート」（または「Support」）ボタンを押して「富士通サービスアシスタント」を起動し、「画面で見るマニュアル」→「FMV の使い方」→「周辺機器」→「液晶ディスプレイ 17 ワイド TV VL-17WVX2 取扱説明書」の順にクリックしてください。

## ■ 商標について

Microsoft および Windows、MS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。



TIME DOMAIN マークは  
株式会社タイムドメインの登録商標です

## ■ 警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

## ■ PC リサイクルマークについて

本製品の装置銘板には、PC リサイクルマークがつけられています。PC リサイクルマークがついた当社の製品は、当社専用受付窓口にて無償で回収・再資源化いたします。廃棄・リサイクルに関する詳細についてはパソコン本体の『使いはじめガイド』を参照ください。



# 目次

はじめに	1
<b>1 使用上のご注意</b>	7
<b>2 各部の名称と機能</b>	9
<b>3 液晶ディスプレイの接続</b>	16
パソコン本体と接続する	16
USB 機器を接続する	17
アンテナと接続する	18
映像機器と接続する	20
電源を接続する	23
<b>4 チャンネルの設定</b>	24
チャンネルを検出する	24
チャンネル設定を変更する	26
チャンネルを微調整する	28
<b>5 テレビ放送を見る</b>	30
テレビ入力に切り換える	30
見たいチャンネルを選択する	30
音量を調節する	31
音声を切り換える	31
<b>6 映像機器の映像を見る</b>	32
ビデオ入力に切り換える	32
<b>7 パソコンのディスプレイとして使う</b>	33
PC 入力に切り換える	33
画質を選ぶ	33
<b>8 「あざやかウィンドウ」機能について</b>	33
<b>9 「ツインテレビ」について</b>	33
<b>10 細かい設定を行う</b>	34
メニュー画面の基本的な操作	34
調整項目の内容	35
明るさを調整する	37
表示サイズを変える	38
画質を調整する	39
現在の設定を確認する（パソコンモード時のみ）	39
ご購入時の設定に戻す	39
各動作時の調整可能な項目	40
<b>11 「おやすみディスプレイ」機能について</b>	40

<b>12 盗難防止について</b> .....	41
<b>13 こんなときは</b> .....	42
画面が表示されない .....	42
画面がおかしい .....	43
音が聞こえない／変な音が聞こえる .....	45
リモコンで操作できない .....	46
インジケータが点滅する .....	46
あざやかウィンドウが実行されない .....	46
ツインテレビが実行されない .....	46
USB 機器が動かない .....	46
<b>14 省電力機能について</b> .....	47
<b>15 日常のお手入れ</b> .....	48
<b>16 仕様</b> .....	50
標準表示仕様 .....	50
本体仕様 .....	51



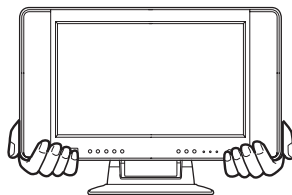
# 1 使用上のご注意

- ・液晶ディスプレイは次の特性を持っていますが、故障ではありません。
  - 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
  - 表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがあります。
  - 周囲環境（温度）によって、表示状態が影響を受けることがあります。
  - 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、一部に常時点灯、消灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受け致しかねますので予めご了承ください。
- ・本製品には有寿命部品（LCD 等）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。
- ・液晶ディスプレイの取り扱いについて

## 重要

▶ 画面を拭く場合、市販クリーナーの成分によっては画面の表面コーティングを傷める恐れがあります。「日常のお手入れ」をご覧ください。（\*▶ P.48）

- 衝撃を与えたり、強い力で押ししたりしないでください。故障の原因となることがあります。特に、画面のお取り扱いについてはご注意ください。
- ひっかいたり、先のとがったもので押さないでください。画面に傷がつく原因になります。
- スピーカ前面を強い力で押ししたりしないでください。スピーカが破損する原因となることがあります。
- 画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- 持ち運びの際は画面やスタンド部を持たないで、右図のように画面下部を両手で持ってください。



- ・本製品を設置するときは、次の点に注意してください。
  - 窓際へ設置する場合は、画面に直接太陽光が当たらないようにしてください。液晶パネルを傷める場合があります。
  - 液晶パネルの表面は外光の映り込みを低減する低反射処理を行っていますが、外光の映り込みが気になる場合は、ディスプレイの向き角度を調整してください。
  - 本製品にはワイヤレスキーボード、マウスの受信ユニットが内蔵されていますので、金属製の机の上に置いたり、キーボードおよびマウスと本製品の間に電子機器や金属製のものを置かないでください。ワイヤレスキーボード、マウスがうまく動作しないことがあります。
  - 本製品およびパソコン本体の設置については、パソコン本体の『パソコンの準備』をご覧ください。

- テレビやラジオ、衛星放送チューナなどのそばに設置しますと、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
- 本製品の近くで、携帯電話や PHS などを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
- ・液晶ディスプレイ専用ケーブルを抜き差しするときは、誤動作することがありますので、必ず先にパソコンの電源を切ってください。
- ・本製品に接続したケーブル類を引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。



## 注意

- ・ AC アダプタをぶら下げた状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。
- ・ AC アダプタは本製品の電源コネクタの奥まで確実に差し込んでください。
- ・ 指定外の AC アダプタは使用しないでください。火災・けがの原因となることがあります。
- ・ 使用中のディスプレイや AC アダプタなどは、布で覆ったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ・ 電源ケーブルや接続ケーブルを AC アダプタに巻き付けしないでください。感電・火災の原因となることがあります。
- ・ AC アダプタに記載されている注意文をよくお読みの上、お使いください。
- ・ 映画などの動画をお楽しみいただくときは、周囲を十分に明るくし、なるべく離れてご覧ください。また、画面が明るすぎると感じたときは、「明るさ」を調整してください。

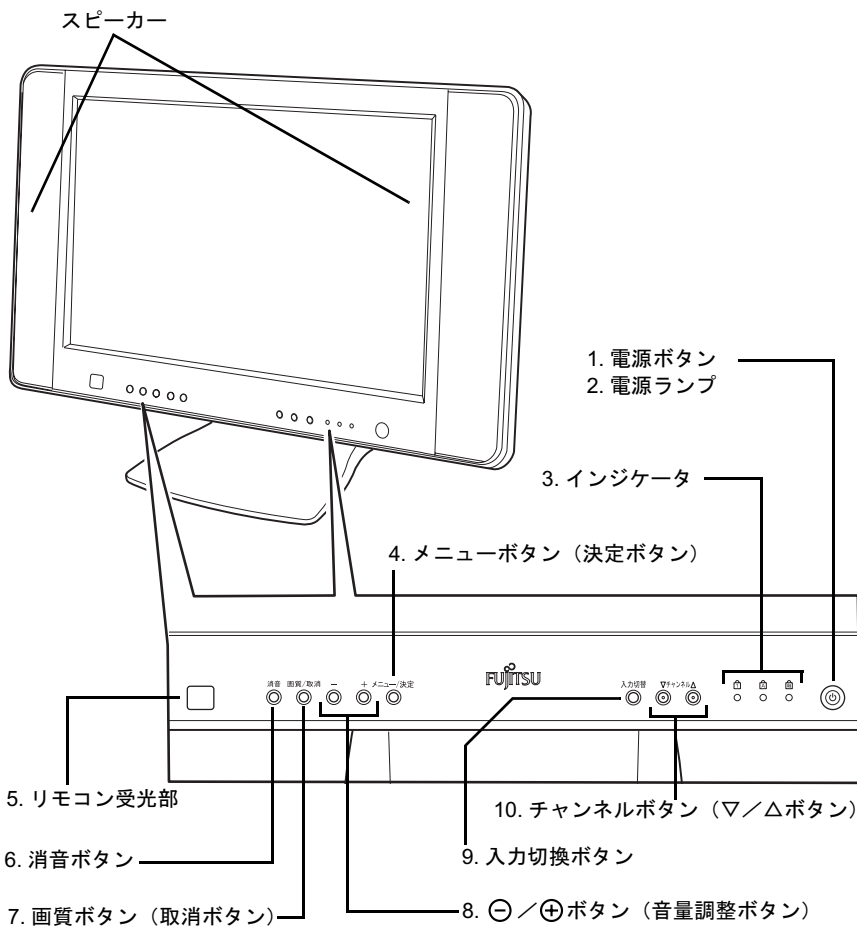


## 警告

- ・ 本製品の内部には高電圧部分がありますので、カバーなどを外して分解しないでください。

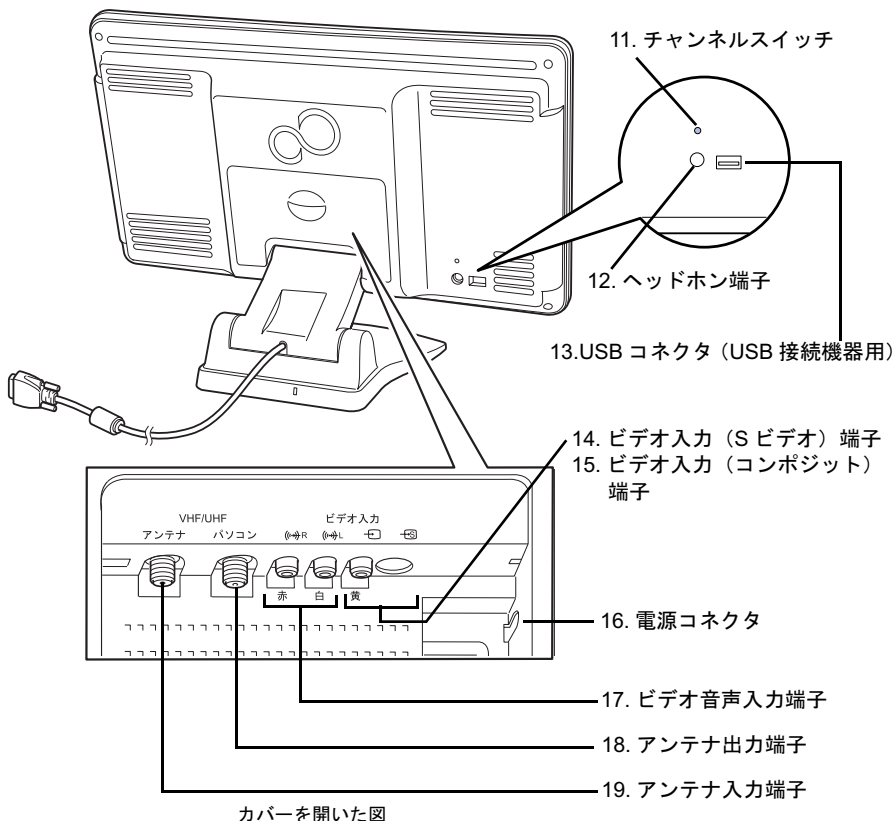
## 2 各部の名称と機能

### ■ 前面



- 1 電源ボタン**  
本製品の電源オン／オフを切り換えます。
- 2 電源ランプ**  
電源が入ると緑色に点灯し、省電力時はオレンジ色に点灯します。
- 3 インジケータ**  
ワイヤレスキーボードの Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock の状態を表示します。  
3 つすべてが点灯すると、ワイヤレスキーボードまたはマウスの電池が消耗したことを表します。
- 4 メニューボタン（決定ボタン）**  
メニュー画面を表示します。  
また、メニュー画面において調整項目を決定したり、調整値を保存する時に使用します。
- 5 リモコン受光部**  
リモコンの赤外線信号を受光します。
- 6 消音ボタン**  
本製品のスピーカー出力のオン／オフを切り換えます。
- 7 画質ボタン（取消ボタン）**  
パソコンモード時に画質モードを切り換えます  
テレビモード時には、3 次元 Y/C 分離機能のオン／オフを切り換えます。  
また、メニュー画面において調整中の値を取り消したり、調整値を保存せずにメニューを終了する時に使用します。
- 8 ⊖／⊕ボタン（音量調節ボタン）**  
本製品のスピーカーまたはヘッドホン音量を調整する時に使用します。  
また、メニュー画面において調整項目を選択したり、設定値を調整する時に使用します。
- 9 入力切替ボタン**  
画面に表示する入力信号を切り換える時に使用します。  
(ボタンを押すたびに PC 入力→テレビ入力→ビデオ入力の順で切り換わります)
- 10 チャンネルボタン（▽／△ボタン）**  
テレビのチャンネルを切り換えます。

## ■ 背面



- 11 チャンネルスイッチ**  
ワイヤレスキーボード、マウスの設定を行います。
- 12 ヘッドホン端子**  
ヘッドホンを接続します。
- 13 USB コネクタ**  
USB 機器と接続するコネクタです。
- 14 ビデオ入力 (S ビデオ) 端子**  
映像機器の映像出力と接続します。
- 15 ビデオ入力 (コンポジット) 端子**  
映像機器の映像出力と接続します。
- 16 電源コネクタ**  
AC アダプタを接続します。
- 17 ビデオ音声入力端子**  
映像機器の音声出力と接続します。

## 18 アンテナ出力端子

添付の同軸ケーブルでパソコンと本製品を接続します。

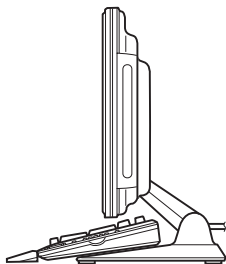
## 19 アンテナ入力端子

アンテナケーブルと本製品を接続します。

### POINT

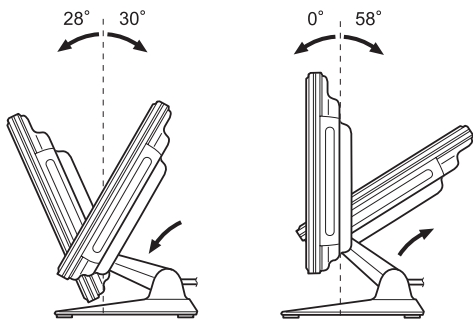
▶インジケータの表示、電池の交換、チャンネルスイッチ、USB コネクタの使用については、パソコン本体の『パソコンの準備』または『FMV の使い方』をご覧ください。

本製品には可動部が2ヵ所あり、画面の位置を上下させたり、前後に傾けたりすることができます。例えば、パソコンをお使いになるとき、より疲れにくくするために画面位置を下げたり（人間工学的には少し見下ろすように画面位置を調節すると、肩などが疲れにくくなります）、パソコンをお使いにならないときには、画面を上げてスタンド部にキーボードを収納したりすることができます。



キーボードを収納した時

ディスプレイの傾きや画面の上下位置を調節するときは、ディスプレイの上部とスタンド部をおさえ、好みの傾きや高さに調節してください。



画面を一番下げたとき

画面を一番上げたとき



注意

- ・傾きや高さを調節するときに、手などを挟まないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

## ■ リモコン

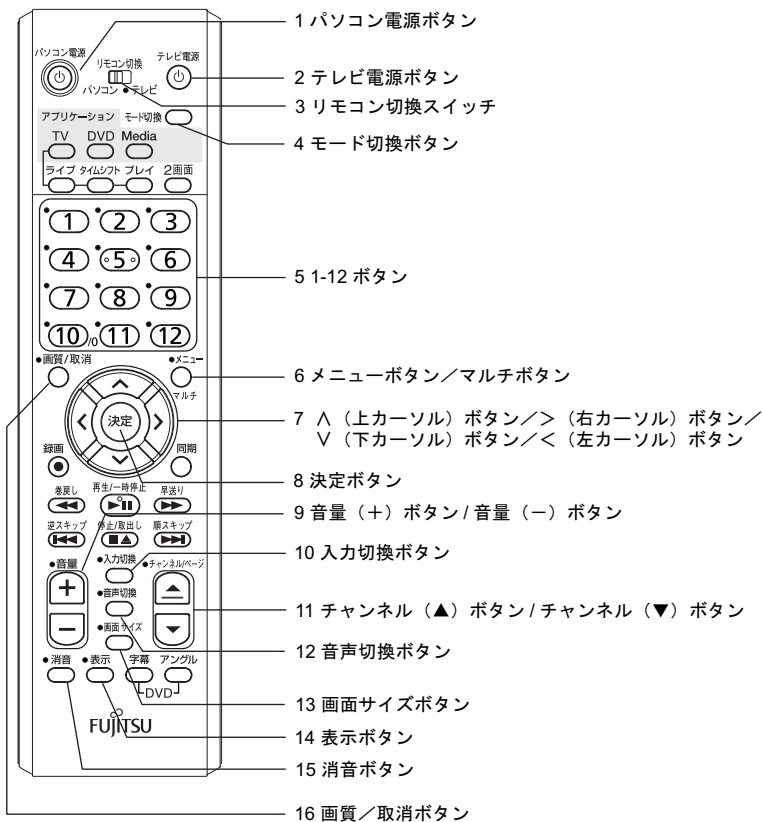
### 重要

▶ リモコンは、パソコン本体に添付されています。本製品の箱には梱包されていません。

### POINT

▶ ここではリモコン切換スイッチ（後述）を「テレビ」にした時に操作できるボタンについてのみ説明します。

リモコン切換スイッチを「パソコン」にした時の動作、乾電池の入れ方、リモコン使用時の注意点については、パソコン本体の『FMVの使い方』または『パソコンの準備』をご覧ください。



### 1 パソコン電源ボタン

### 2 テレビ電源ボタン

本製品の電源オン／オフを切り換えます。

### 3 リモコン切換スイッチ

リモコンの操作対象をパソコンまたは本製品に切り換えます。

テレビに切り換えると、リモコンで本製品の操作をすることができます。

#### **4 モード切替ボタン**

ディスプレイの動作モードを切り換えます。

パソコンモード：パソコンの画面、音声を出力します。

テレビモード：テレビ又はビデオの画面、音声を出力します。

#### **5 1-12 ボタン**

1～12のチャンネルを選択します。

#### **6 メニューボタン／マルチボタン**

メニュー画面を表示します。

また、メニュー画面において調整項目を決定したり、調整値を保存するときに使用します。

(本製品のメニューボタン(決定ボタン)と同じ動作をします)

#### **7 上(カーソル)ボタン／>(右カーソル)ボタン／V(下カーソル)ボタン／<(左カーソル)ボタン**

メニュー画面で調整項目を選択したり、設定値を調整するときに使用します。

メニュー画面が表示されていないときは本製品のスピーカーまたはヘッドホン音量を調整できます。

また、パソコンモードでテレビの2画面表示を行っているときは、>(右カーソル)ボタン、<(左カーソル)ボタンでどちらの信号の音声を出力するかを切り換えます。

#### **8 決定ボタン**

メニューボタン/マルチボタンと同じ動作をします。

#### **9 音量(+ )ボタン／音量(-)ボタン**

本製品のスピーカーまたはヘッドホン音量を調整できます。

#### **10 入力切替ボタン**

動作モードがテレビモードの時に押すと、表示画面と音声がテレビとビデオ入力の間で切り換わります。

#### **11 チャンネル(▲)ボタン／チャンネル(▼)ボタン**

テレビのチャンネルを切り換えます。

(本製品のチャンネルボタンと同じ動作をします)

#### **12 音声切替ボタン**

音声多重放送の場合に、音声を切り換えます。

ボタンを押す度に、主音声→副音声→主+副音声(→主音声)の順で切り換わります。ツインテレビをお使いのときは、パソコンの音声出力とツインテレビの音声を切り換えます。

#### **13 画面サイズボタン**

表示サイズを切り換えます。

#### **14 表示ボタン**

入力信号の情報を表示します。

#### **15 消音ボタン**

本製品のスピーカー出力のオン/オフを切り換えます。

(本製品の消音ボタンと同じ動作をします)



## 16 画質／取消ボタン

パソコンモード時に画質モードを切り換えます。

テレビモード時には3次元 Y/C 分離機能のオン／オフを切り換えます。

また、メニュー画面において調整中の値を取り消したり、調整した値を保存せずにメニューを終了するとき 사용합니다。

(本製品の画質ボタン (取消ボタン) と同じ動作をします)

# 3 液晶ディスプレイの接続

## POINT

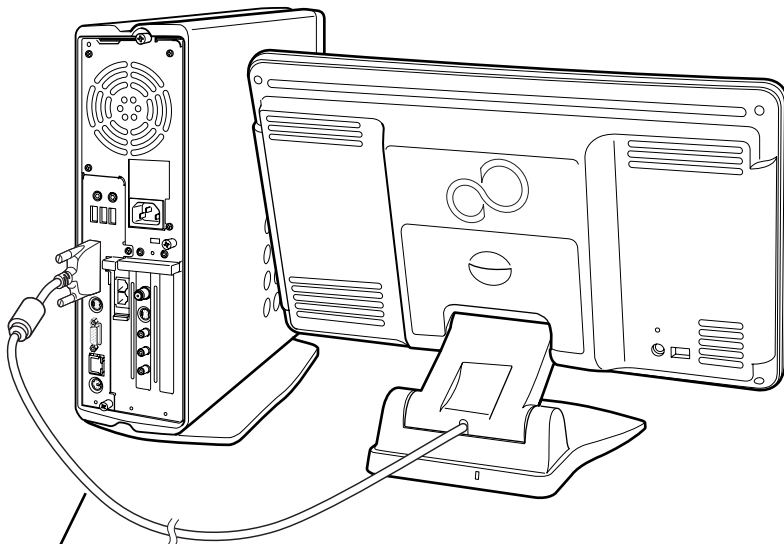
▶ パソコン本体の『パソコンの準備』の記述もご覧ください。

## 重要

- ▶ パソコン本体に電源ケーブルを接続する前に、先に本製品とパソコン本体との接続を行ってください。
- ▶ すべての接続が終了するまで、本製品およびパソコン本体の電源を入れないでください。
- ▶ 初めて電源を入れるときは、本製品の電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れてください。先にパソコン本体の電源を入れた場合、画面が表示されない、リモコンで操作できない等のトラブルが発生する恐れがあります。

## パソコン本体と接続する

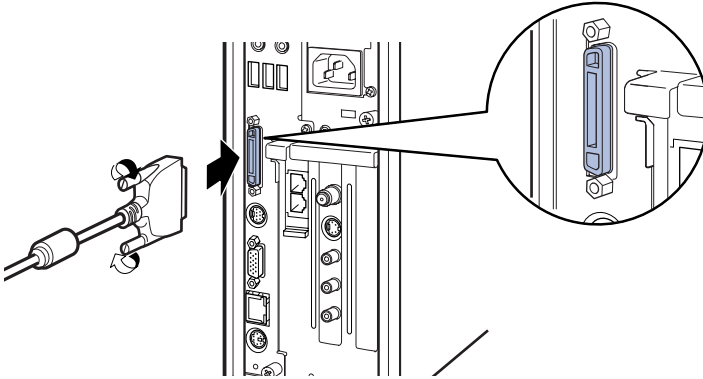
ケーブルを図のように接続します。



液晶ディスプレイ専用ケーブル  
パソコン本体の付属ディスプレイ専用コネクタへ

## 重要


- ▶ 液晶ディスプレイ専用ケーブルの接続では、コネクタをパソコン本体の付属ディスプレイ専用コネクタにしっかりと差し込み、コネクタ両脇のスクリーンネジを締めてください。



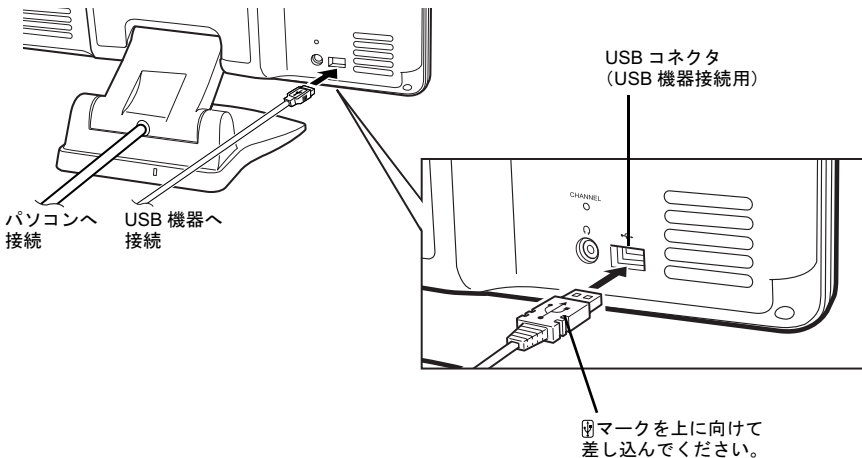
(コネクタの位置は、機種や状況により異なります。)

## USB 機器を接続する

ここでは本製品と USB 機器の接続について説明します。パソコン本体と本製品の接続方法については、パソコン本体の『FMV の使い方』をご覧ください。

使用したい USB 機器を本製品の背面にある USB コネクタ (USB 機器接続用) と接続します。このとき、USB マーク (  ) のある面を上に向けて、差し込んでください。

パソコン本体が USB 機器を認識するまでに数秒～数 10 秒が必要です。認識されるまでの間、コネクタの抜き差しは行わないでください。



## 重要

- ▶ 接続する USB 機器によっては、専用のドライバのインストールが必要となる場合があります。この場合は USB 機器の取扱説明書をご覧ください。
- ▶ USB インタフェースは市販されているすべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- ▶ コネクタを奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。

## アンテナと接続する



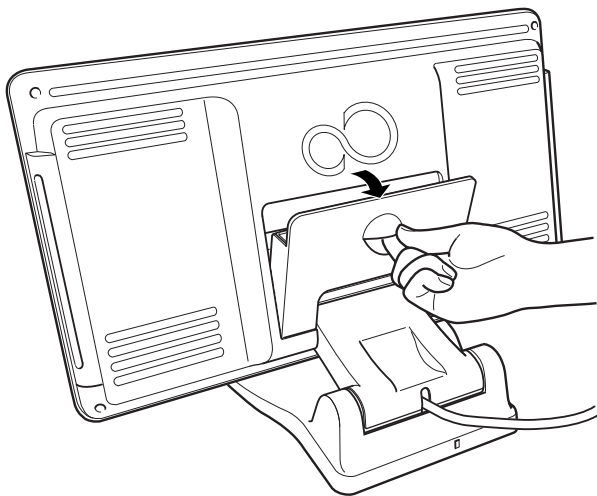
警告

- ・ 近くで落雷のおそれがある場合は、すべての作業を中止してください。落雷による感電のおそれがあります。

## POINT

- ▶ アンテナケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサ、中継コネクタなどは添付していません。テレビと接続しているアンテナケーブルを外して接続するか、市販のものをご購入ください。ご購入する場合は、ケーブルは適切な長さのものを選択してください。アンテナ設置については、最寄りの電気店にお問い合わせください。

### 1 本製品背面のカバーをつまみを持って開きます。



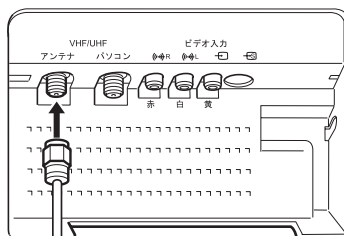
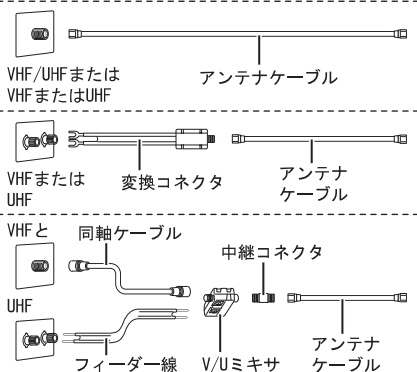
## 2 アンテナケーブルと本製品を接続する。

接続のしかたは、壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。下の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類をご購入の上、接続してください。

すでにアンテナケーブルが、お客様がお使いのテレビに接続されている場合は、テレビからアンテナケーブルを取り外し、本製品のアンテナ入力端子に接続してください。

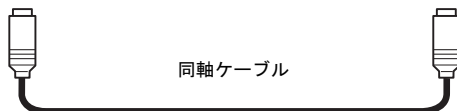
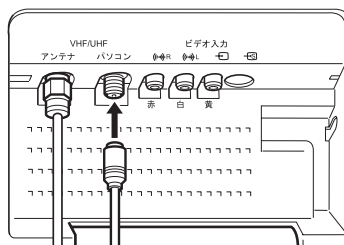
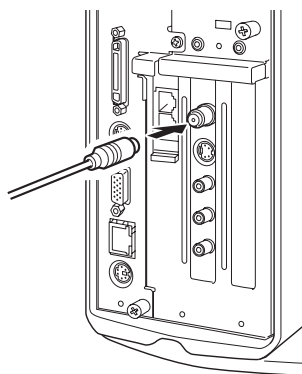
アンテナ  
コネクタの形

使用するケーブルなど



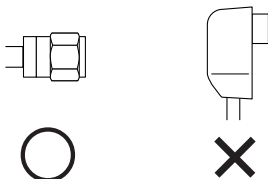
## 3 本製品とパソコン本体を接続する。

添付の同軸ケーブルで、本製品とパソコン本体を接続してください。



## 重要

- ▶ アンテナケーブルと本製品の接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグをお使いください。F 型コネクタプラグの取り付け方については、F 型コネクタのマニュアルをご覧ください。



- ▶ 本製品にアンテナケーブル、同軸ケーブルを接続する際は、コネクタの中心にある金属芯を折らないよう、注意して扱ってください。

---

## 映像機器と接続する

---

### 1 必要なものを用意します。

次のものを用意します。

#### ■ ビデオデッキやビデオカメラ、CS チューナーなどの映像機器

映像出力端子または S 映像出力端子を持つものをお使いになれます。各社から発売されています。

#### ■ ビデオケーブルまたは S 端子ケーブル

本製品と上記映像機を接続するケーブルです。両端がピンプラグのビデオケーブル、または両端が S プラグ (ミニ DIN4 ピン) の S 端子ケーブルがご利用になれます。映像機器の出力端子に応じて、どちらか一方をお選びください。

#### ■ 音声ケーブル

映像機器の音声出力と、本製品のビデオ音声入力端子を接続します。映像機器側の接続については、映像機器のマニュアルをご覧ください。接続に適したケーブルをご購入ください。また、ケーブルは「抵抗なし」のものをお使いください。

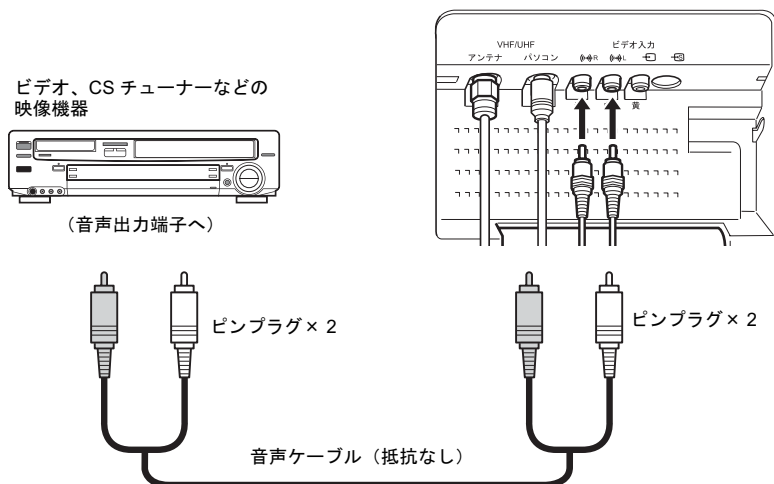
#### ■ 映像機器のマニュアル

映像機器によって接続が異なります。必ず映像機器のマニュアルをご覧ください。

## 2 音声ケーブルを接続します。

音声ケーブルを、本製品のビデオ音声入力に、接続したケーブルの反対側を映像機器側の音声出力端子に接続します。

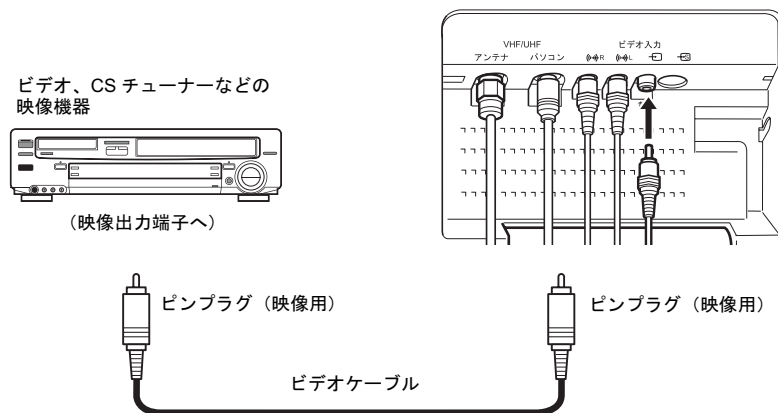
音声ケーブルのピンプラグの色と、本製品の端子の色を合わせて差し込んでください。



## 3 ビデオケーブルまたは S 端子ケーブルを接続します。

### ■ ビデオケーブルを接続する場合

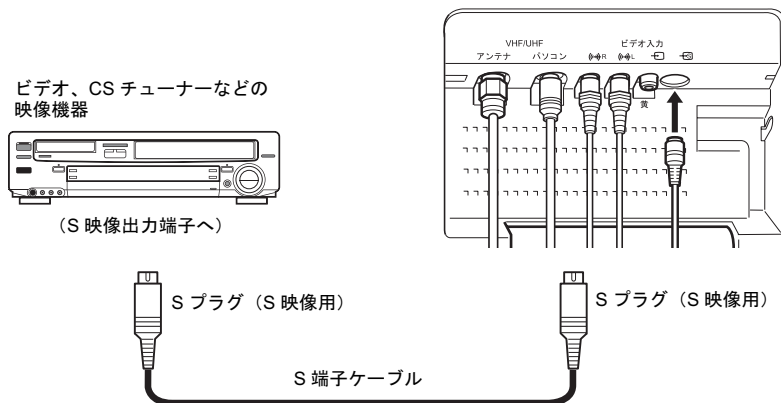
ビデオケーブルの一方のプラグを本製品のビデオ入力 (コンポジット) 端子に、反対側を映像機器側の映像出力端子に接続します。



## ■ S 端子ケーブルを接続する場合

S 端子ケーブルを、本製品のビデオ入力 (S ビデオ) 端子に、接続したケーブルの反対側を映像機器側の S 映像出力端子に接続します。

S 端子ケーブルを接続する場合は、ケーブルと接続する端子の向きを確認して差し込んでください。無理に差し込むと、本製品および映像機器が破損するおそれがあります。



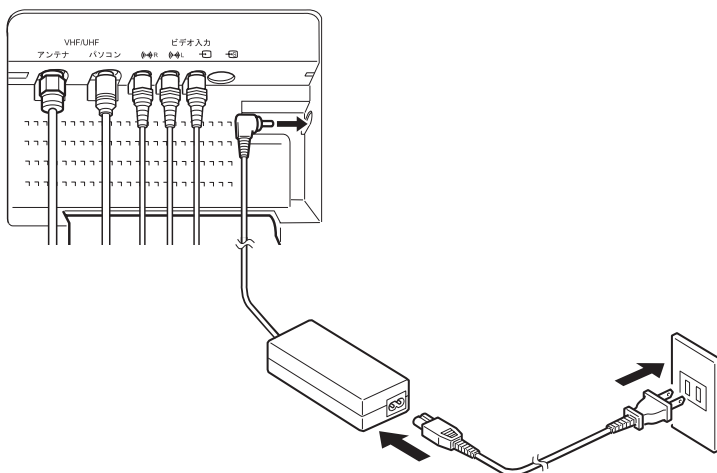
### POINT

- ▶ ビデオケーブルを接続した状態で更にS端子ケーブルを接続すると、S端子ケーブルからの映像が優先されます。ビデオケーブルからの映像を楽しみたいときは、S端子ケーブルを接続しないでください。

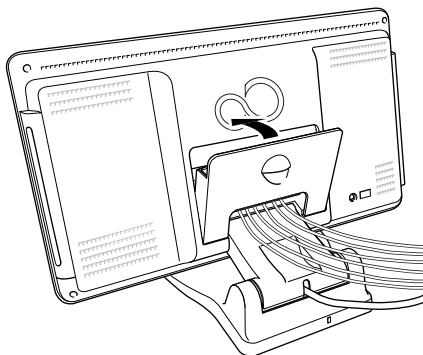


## 電源を接続する

- 1 本製品の電源コネクタに添付の AC アダプタを接続し、電源プラグをコンセントにつなぎます。



- 2 全ての接続が完了したことを確認し、カバーを閉じます。  
ケーブルを挟み込まないよう注意してください。



注意

- ・ 本製品はコンセントの近くに設置し、異常が発生したときにすぐに対応できるようにしてください。
- ・ 万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

# 4 チャンネルの設定

## チャンネルを検出する

放送電波を検出して、チャンネルの自動設定を行います。

### POINT

- ▶ チャンネルの設定は、放送のある時間帯に行ってください。
- ▶ CATVの受信はサービス（放送）の行われている地域のみ可能です。CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに有料放送などスクランブルがかかった放送の視聴・録画には、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくは、サービスを行っているCATV会社へご相談ください。
- ▶ BS放送、CS放送は受信できません。
- ▶ パソコン本体にインストールされている「TVfunSTUDIO™」のチャンネルを設定すると、そのうち1～12チャンネルの内容が本製品の設定にも反映されます。液晶ディスプレイのチャンネル設定を個別に行う場合には、「TVfunSTUDIO」のチャンネル設定を実行した後に、改めて液晶ディスプレイのチャンネル設定を行ってください。「ツインテレビ」の設定方法については、「ツインテレビ」のヘルプをご覧ください。

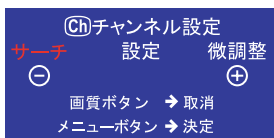
### 重要

- ▶ リモコンの操作はすべて、リモコン切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。もしリモコン切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

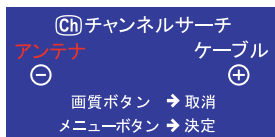
- 1 ディスプレイ本体の電源ボタンを押して、本製品の電源を入れてください。
- 2 ディスプレイ本体の入力切換ボタンを押して、テレビ入力に切り換えます。テレビ入力を選択されると、画面右上に「テレビ」と表示されます。
- 3 メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。



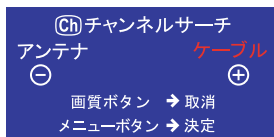
- 4 ⊖ / ⊕ ボタンで「チャンネル設定」を選択し、メニューボタンを押します。
- 5 ⊖ / ⊕ ボタンで「サーチ」を選択し、メニューボタンを押します。



- 6 本製品を VHF/UHF アンテナと接続した場合には「アンテナ」を、CATV と接続した場合には「ケーブル」を選択します。

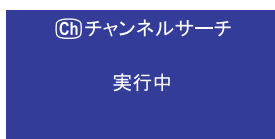


VHF/UHF の場合



CATV の場合

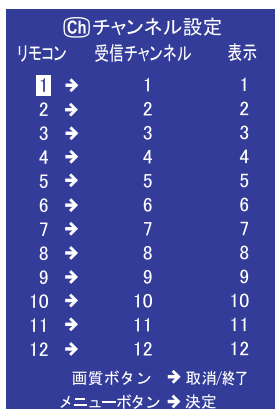
- 7 メニューボタンを押すとチャンネルサーチを開始します。



#### POINT

- ▶ 電波の受信状態が悪い場合、チャンネルサーチを行うごとに検出結果が異なることがあります。

- 8 チャンネルサーチが完了すると、自動的にチャンネル設定画面に移ります。  
チャンネル設定を変更する必要無ければ、画質ボタンを押すと設定が保存され、メニュー画面に戻ります。



#### POINT

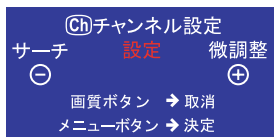
- ▶ チャンネルサーチは、放送電波を検出した順にチャンネル番号を割り当てていきます。このため、ご使用になる地域などの条件によっては、一部のチャンネルが割り当てから外れてしまうことがあります。その場合は次の「チャンネル設定を変更する」を行ってください。

## チャンネル設定を変更する

リモコンの各番号ボタンに割り当てる受信チャンネルを設定します。また、画面右上に表示されるチャンネルの番号を設定することができます。

**1** メニュー画面で「チャンネル設定」を選択し、メニューボタンを押します。

**2** ⊖ / ⊕ ボタンで「設定」を選択し、メニューボタンを押します。



**3** ⊖ / ⊕ ボタンで割り当てを変更したいボタンの番号を選択し、メニューボタンを押します。

リモコン	受信チャンネル	表示
<b>1</b> →	1	1
2 →	2	2
3 →	3	3
4 →	4	4
5 →	5	5
6 →	6	6
7 →	7	7
8 →	8	8
9 →	9	9
10 →	10	10
11 →	11	11
12 →	12	12

- 4 ⊖/⊕ ボタンで割り当てたい受信チャンネルを選択し、メニューボタンを押します。

ⓐチャンネル設定		
リモコン	受信チャンネル	表示
1 →	⊖ 1 ⊕	1
2 →	2	2
3 →	3	3
4 →	4	4
5 →	5	5
6 →	6	6
7 →	7	7
8 →	8	8
9 →	9	9
10 →	10	10
11 →	11	11
12 →	12	12

画質ボタン → 取消/終了  
メニューボタン → 決定

### POINT

- ▶チャンネルサーチから続けてチャンネル設定を行っている場合、選択できるのは検出できたチャンネルのみとなります。

- 5 ⊖/⊕ ボタンで表示させる番号を設定し、メニューボタンを押します。

ⓐチャンネル設定		
リモコン	受信チャンネル	表示
1 →	1	⊖ 1 ⊕
2 →	2	2
3 →	3	3
4 →	4	4
5 →	5	5
6 →	6	6
7 →	7	7
8 →	8	8
9 →	9	9
10 →	10	10
11 →	11	11
12 →	12	12

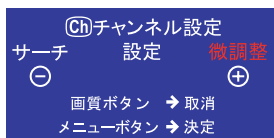
画質ボタン → 取消/終了  
メニューボタン → 決定

- 6 続けて設定を行う場合、手順2 - 5を繰り返します。  
画質ボタンを押すと設定が保存され、メニュー画面に戻ります。

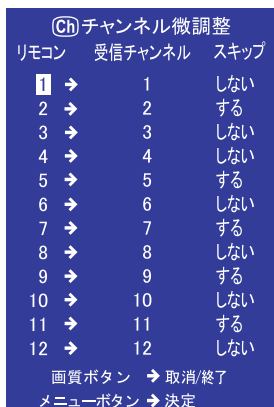
## チャンネルを微調整する

ご使用になる地域やCATV、マンションなどの共同受信システムによっては、微調整を行うことにより画質が良くなることがあります。また、チャンネルボタン（▽ / △ボタン）でチャンネルを切り換えたときに、不要なチャンネルを飛ばすように設定することができます。

- 1 メニュー画面で「チャンネル設定」を選択し、メニューボタンを押します
- 2 ⊖ / ⊕ ボタンで「微調整」を選択し、メニューボタンを押します。



- 3 ⊖ / ⊕ ボタンで微調整を行いたいチャンネルの設定されている番号を選択し、メニューボタンを押します。



- 4 ⊖/⊕ ボタンで最適な画質になるように調整し、メニューボタンを押します。

ⓐチャンネル微調整		
リモコン	受信チャンネル	スキップ
1 →	1	しない
2 →	2	する
3 →	3	しない
4 →	4	しない
5 →	5	する
6 →	6	しない
7 →	7	する
8 →	8	しない
9 →	9	する
10 →	10	しない
11 →	11	する
12 →	12	しない

画質ボタン → 取消/終了  
メニューボタン → 決定

### POINT

- ▶調整をおこなっても、メニュー画面の表示内容は⊖/⊕マークが点滅する以外の変化はありません。

- 5 ⊖/⊕ ボタンでスキップの設定をおこない、メニューボタンを押します。「する」に設定すると、チャンネルボタン（▽/△ボタン）でチャンネルを切り換えたときにそのチャンネルをスキップします。

ⓐチャンネル微調整		
リモコン	受信チャンネル	スキップ
1 →	1	⊖しない⊕
2 →	2	する
3 →	3	しない
4 →	4	しない
5 →	5	する
6 →	6	しない
7 →	7	する
8 →	8	しない
9 →	9	する
10 →	10	しない
11 →	11	する
12 →	12	しない

画質ボタン → 取消/終了  
メニューボタン → 決定

- 6 続けて他のチャンネルを微調整する場合、手順2～5を繰り返します。画質ボタンを押すと設定を保存し、メニュー画面に戻ります。

# 5 テレビ放送を見る

---

## 重要

▶ リモコンの操作はすべて、リモコン切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。もしリモコン切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

---

## テレビ入力に切り換える

---

### ■ リモコンを使う

- 1 テレビ電源ボタンを押して、本製品の電源を入れて下さい。
- 2 モード切換ボタンでテレビモードに切り換えます。  
テレビモードになると、画面右上に「テレビ」又は「ビデオ」と表示されます。「ビデオ」と表示された場合は次の3項の作業を行って下さい。
- 3 入力切換ボタンでテレビ入力に切り換えます。  
テレビ入力を選択されると、画面右上に「テレビ」と表示されます。

### ■ ディスプレイ本体のボタンを使う

- 1 ディスプレイ本体の電源ボタンを押して、本製品の電源を入れて下さい。
- 2 ディスプレイ本体の入力切換ボタンを押して、テレビ入力に切り換えます。  
テレビ入力を選択されると、画面右上に「テレビ」と表示されます。

---

## 見たいチャンネルを選択する

---

### ■ リモコンの1 - 12 ボタンを使う

見たいチャンネルの番号を押すと、そのチャンネルが表示されます。

### ■ ▼/▲ボタンを使う

リモコンまたは本体の▲ボタンを押すと次のチャンネルが、▼ボタンを押すと前のチャンネルが表示されます。このとき、チャンネル設定 (\*\*▶ P.24) でスキップを「する」に設定したチャンネルは飛ばされます。



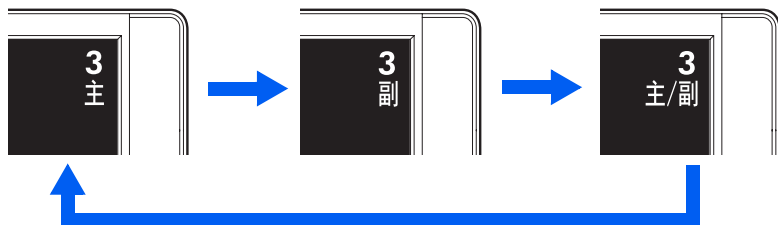
## 音量を調節する

- 1 リモコンまたは本体の $\ominus$ / $\oplus$  ボタンを押して、音量を調節します。  
 $\oplus$  ボタンを押すと音量が大きくなり、 $\ominus$  ボタンを押すと小さくなります。

## 音声を切り換える

テレビ入力でニカ国語放送などの音声多重放送を受信しているときに、音声モードを選択します。

- 1 リモコンの音声切換ボタンを押して、ご希望の音声モードを選択します。



### POINT

▶「主 / 副」を選択した場合、左スピーカーから主音声、右スピーカーから副音声がかかります。

## 6 映像機器の映像を見る

### 重要

- ▶ リモコンの操作はすべて、リモコン切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。もしリモコン切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

## ビデオ入力に切り換える

### ■ リモコンを使う

- 1** テレビ電源ボタンを押して、本製品の電源を入れて下さい。
- 2** モード切換ボタンでテレビモードに切り換えます。  
テレビモードになると、画面右上に「テレビ」又は「ビデオ」と表示されます。「テレビ」と表示された場合は次の3項の作業を行って下さい。
- 3** 入力切換ボタンでビデオ入力に切り換えます。  
ビデオ入力を選択されると、画面右上に「ビデオ」と表示されます。

### ■ ディスプレイ本体のボタンを使う

- 1** ディスプレイ本体の電源ボタンを押して、本製品の電源を入れて下さい。
- 2** ディスプレイ本体の入力切換ボタンを押して、ビデオ入力に切り換えます。  
ビデオ入力を選択されると、画面右上に「ビデオ」と表示されます。

### 重要

- ▶ ビデオの早送りやスローでの再生時は、画面がちらつくことがあります。
- ▶ 映像機器や映像媒体によっては、画面が乱れることがあります。

# 7 パソコンのディスプレイとして使う

---

## 重要

▶ リモコンの操作はすべて、リモコン切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。もしリモコン切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

---

## PC 入力に切り換える

---

- 1 リモコンのテレビ電源ボタンまたはディスプレイ本体の電源ボタンを押して、本製品の電源を入れてください。
- 2 リモコンのモード切換ボタンまたはディスプレイ本体の入力切換ボタンを押して、PC 入力に切り換えてください。  
PC 入力を選択されると、画面右上に「PC」と表示されます。

---

## 画質を選ぶ

---

▶ 『取扱説明書』

# 8 「あざやかウィンドウ」機能について

---

▶ 『取扱説明書』

# 9 「ツインテレビ」について

---

▶ 『取扱説明書』

# 10 細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。設定には、画面下のメニュー／決定ボタン、 $\ominus$ ／ $\oplus$  ボタン、画質／取消ボタン、消音ボタン（またはリモコンのメニューボタン、音量（-）ボタン／音量（+）ボタン、画質／取消ボタン、消音ボタン）を使用します。

## 重要

▶ リモコンで操作する場合は、リモコン切換スイッチを「テレビ」にしてから操作してください。

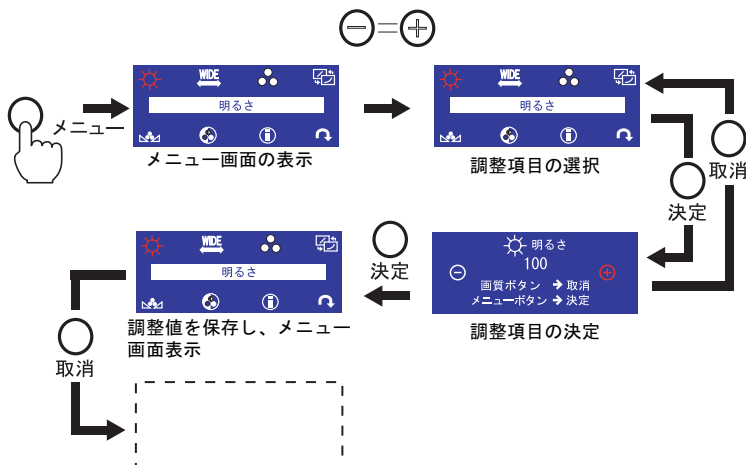
## メニュー画面の基本的な操作

### ■ ボタンの基本機能

メニュー／決定ボタン（メニューボタン）	→ メニュー表示／決定
$\ominus$ ／ $\oplus$ ボタン（音量（-）ボタン／音量（+）ボタン）	→ 選択／調整／音量調整
画質／取消ボタン	→ 画質選択／取消
消音ボタン	→ 消音

### ■ 操作手順

例) 明るさ



10 秒以上ボタン操作を行わなかった場合、調整値が自動的に保存されます。次に電源を入れたときには、保存された内容で画面が表示されます。




## POINT

- ▶ 音量調整、画質選択、スピーカーオン／オフ、3DY/C オン／オフのいずれかが表示されている状態で、3秒以上ボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示が自動的に消えます。

## 重要


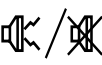
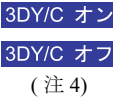
- ▶ 各解像度とも保存された内容で画面が表示されます。
- ▶ 「あざやかウィンドウ設定」ダイアログ表示中は音量調整、スピーカーオン／オフ以外の操作ができなくなります。「あざやかウィンドウ設定」ダイアログを閉じた後に、画面の設定を行ってください。

## 調整項目の内容

アイコン	名称	機能
	明るさ	画面全体の明るさを調整します。
	ワイド画面切替	パソコンモード時 各解像度の画面を画面いっぱいに拡大するか、画面の縦横比を守って拡大表示するかを選択します。 <b>ワイド</b> ：画面いっぱいに拡大します。標準表示仕様（640 × 400、720 × 400、1280 × 768 は除く）以外の解像度の画面は拡大されません。 <b>ノーマル</b> ：画面の縦横比を守って拡大表示します。画面の内側に映像が表示され、画面の端は黒い帯になります。
		テレビモード時 表示サイズを4種類から選択します。 <b>ノーマル</b> ：画面の縦横比を守って表示します。画面の内側に表示され、画面の左右は黒い帯になります。 <b>ワイド1</b> ：スクイーズ映像を最適に表示します。画面の上下は黒い帯になります。（縦横比16：9） <b>ワイド2</b> ：画面中央から両端に向かってスムーズに引き伸ばすことによって、少ない異和感で画面いっぱいに表示します。 <b>ズーム</b> ：縦横比を変えずに画面いっぱいに表示します。（映像の上下がカットされます）
 (注1)	カラー	<b>デフォルト</b> ：ご購入時の設定です。通常はこの設定でお使いください。 <b>ユーザー</b> ：メニューでお好みの色に調整できます。R（赤）、G（緑）、B（青）の各色で調整します。

アイコン	名称	機能
	ガンマ補正	画面の明暗部分のバランスを3種類から選択します。 <b>PC (標準)</b> ：適度なコントラストで標準的な画質になります。 <b>シネマ</b> ：暗い部分の微妙な違いを再現するのに適した画質になります。 <b>ビデオ</b> ：コントラストが高く、メリハリの強い画質になります。
	色あい	画面の色あいを調整します。 +：赤みがかります。 -：緑がかります。
	色のこさ	画面の色の濃さを調整します。 +：濃くなります。 -：薄くなります。
 (注1)	情報表示	現在設定されている解像度と周波数が数値で、画質モードがアイコンで表示されます。
	リセット	チャンネル設定を除く全ての項目をご購入時の設定にします。
 (注2)	コントラスト	画面の濃淡の強さ (コントラスト) を調整します。
 (注3)	チャンネル設定	チャンネルの設定を行います。 <b>サーチ</b> ：放送電波を自動検出し、チャンネルを設定します。 <b>設定</b> ：リモコンの数字ボタンへのチャンネルの割り当てを設定します。 <b>微調整</b> ：各チャンネルの受信状態を微調整します。また、チャンネルボタン (▽/△ボタン) 操作時のスキップの設定をします。

音量調整、スピーカーオン／オフ、3次元Y/C分離オン／オフは、それぞれメニュー画面を表示せずに直接 ⊖ / ⊕ ボタン、消音ボタン、画質ボタンで調整できます。

アイコン	名称	機能
	音量	本製品のスピーカーまたはヘッドホンの音量を調整します。 ⊕ ボタンを押すと音量が大きく、⊖ ボタンを押すと音量が小さくなります。 スピーカーオフの設定時に音量を調整すると、スピーカーオフは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。
	スピーカーオン／オフ	本製品のスピーカーのオン／オフを選択します。 外付けのスピーカーを使用したいときなどに、本製品のスピーカーをオフにすることができます。 消音ボタンを押すたびに、オンとオフをくり返します。スピーカーオフのときに音量を調整すると、スピーカーオフは解除されます。
	3DY/C オン／オフ (注4)	本製品の3次元Y/C分離機能のオン／オフを選択します。 本機能をオンにすると、画面は色のにじみ等を抑えた鮮明なものとなります。

(注1) パソコンモードのみ

(注2) テレビモードのみ

(注3) テレビ入力時のみ

(注4) テレビ入力時、およびコンポジット入力端子を使用した場合のビデオ入力時

## 明るさを調整する

画面が明るすぎる場合または暗い場合に、お好みの明るさに調整してください。

- 1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。
- 2 ⊖ / ⊕ ボタンで「明るさ」を選択し、メニューボタンを押します。
- 3 ⊖ / ⊕ ボタンで明るさを調整し、メニューボタンを押します。



# 表示サイズを変える

## ■ テレビモード入力時

表示サイズを下記の4種類から選択できます。

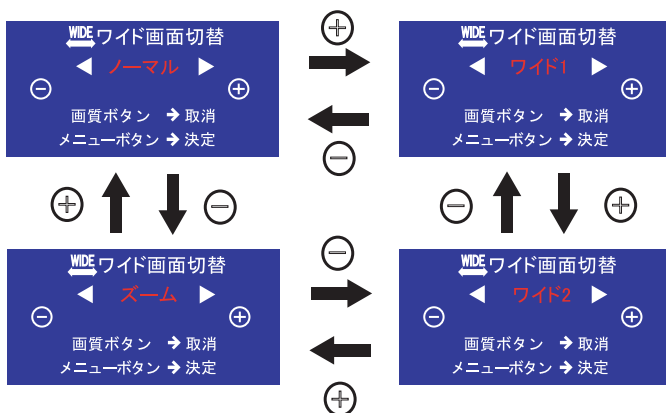
ノーマル：画面の縦横比を守って表示します。画面の内側に表示され、画面の左右は黒い帯になります。

ワイド1：スクイーズ映像を最適に表示します。画面の上下は黒い帯になります。(縦横比16:9)

ワイド2：画面中央から両端に向かってスムーズに引き伸ばすことによって、少ない異和感で画面いっぱいに表示します。

ズーム：縦横比を変えずに画面いっぱいに表示します。(映像の上下がカットされます)

- 1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。
- 2 ⊖/⊕ボタンで「ワイド画面切替」を選択し、メニューボタンを押します。
- 3 ⊖/⊕ボタンで表示サイズを選択し、メニューボタンを押します。



## ■ パソコンモード時

▶ 『取扱説明書』

### POINT

▶ リモコン切換スイッチを「テレビ」にし、画面サイズボタンを押しても、表示サイズを切り換えることができます。

### 重要

▶ 本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置く場合、ワイド画面切換機能を使って画面の拡大、圧縮、または映像の一部カットを行った状態で使用すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。



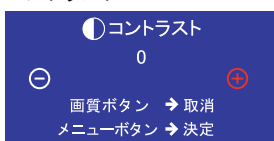
## 画質を調整する

### ■テレビモード時

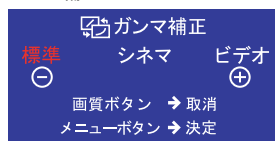
コントラスト、ガンマ補正（明暗部分のバランス）、色あい、色のこさを調整することにより、お好みの画質に設定することができます。

- 1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。
- 2 ⊖/⊕ ボタンで「コントラスト」、「ガンマ補正」、「色あい」、「色のこさ」のどれかを選択し、メニューボタンを押します。
- 3 ⊖/⊕ ボタンで、お好みの調整値また設定値を選択し、メニューボタンを押します。

コントラスト



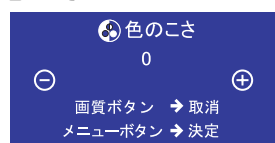
ガンマ補正



色合い



色のこさ



### ■パソコンモード時

▶▶『取扱説明書』

## 現在の設定を確認する（パソコンモード時のみ）

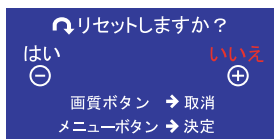
▶▶『取扱説明書』

## ご購入時の設定に戻す

チャンネル設定以外の全ての項目をご購入時の設定に戻すことができます。

- 1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。
- 2 ⊖/⊕ ボタンで「リセット」を選択し、メニューボタンを押します。

### 3 ⊖/⊕ ボタンで「はい」を選択し、メニューボタンを押します。



## 各動作時の調整可能な項目

	PC入力					テレビ入力	ビデオ入力
	PCモード	シネマモード	ビデオモード	カスタムモード	おまかせモード		
音量調整	○	○	○	○	○	○	○
スピーカーオン／オフ	○	○	○	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○	○	○	○
ワイド画面切替	○	○	○	○	○	○	○
カラー	×	×	×	○	×	×	×
ガンマ補正	×	×	×	○	×	○	○
色あい	×	×	×	○	×	○	○
色のこさ	×	×	×	○	×	○	○
情報表示	○	○	○	○	○	×	×
コントラスト	×	×	×	×	×	○	○
チャンネル設定	×	×	×	×	×	○	×
3DY/C オン／オフ	×	×	×	×	×	○	○ (注)
リセット	○	○	○	○	○	○	○

(注) テレビ入力時、およびビデオ入力(コンポジット端子)時のみ

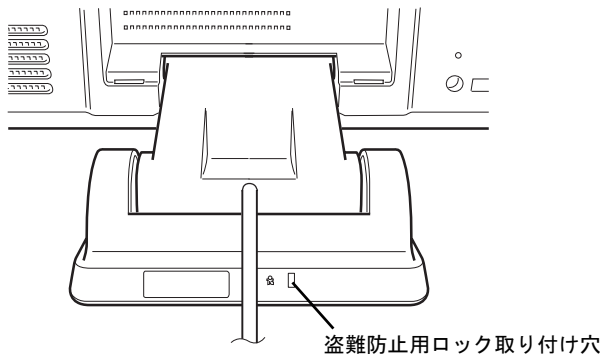
## 11 「おやすみディスプレイ」機能について

→ 『取扱説明書』

# 12 盗難防止について

本製品のスタンド部背面には、盗難防止用ロック取り付け穴があります。

市販の盗難防止用ケーブルを接続できます。



## POINT

- ▶ 盗難防止用ロック取り付け穴は、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

商品名：SLIM MICROSAVER

商品番号：0522011

(富士通コワーコ株式会社取り扱い品      お問い合わせ：03-3342-5375)

# 13 こんなときは

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。

下図の「参照ページ」に『 』で表記されているのは、パソコン本体側のマニュアル名です。該当するマニュアルをご覧ください。

問題が解決できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」のご利用については、『サポート & サービスのご案内』をご覧ください。

## 画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが消灯している	電源ケーブルまたは AC アダプタが正しく接続されていない。	電源ケーブルまたは AC アダプタを正しく奥まで確実に接続してください。	「電源を接続する」(●▶P.23)
	電源が入っていない。	電源を入れてください。	「各部の名称と機能」(●▶P.9)
電源ランプがオレンジ色に点灯しており、メニューボタンを押すと「節電に入ります」とメッセージが表示される	パソコンが省電力状態になっている。	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。	『FMVの使い方』
電源ランプが緑色に点灯している	ビデオ入力端子に接続された映像機器の電源が入っていない。	映像機器の電源を入れてください。または入力切換ボタンで他の入力を選択してください。	—
電源ランプが緑色に点灯するが、画面が表示されない。 場合によっては以下のメッセージも表示される。 「規定外の信号です」 「入力信号がありません」	パソコン本体の設定が標準表示仕様以外のモード(解像度)になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様のモード(解像度)に変更してください。	「標準表示仕様」(●▶P.50) および『トラブル解決ガイド』
電源ランプがオレンジ色に点灯しており、メニューボタンを押しても、メッセージが表示されない	液晶ディスプレイ専用ケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない。	液晶ディスプレイ専用ケーブルがパソコン本体に正しく接続してください。	「パソコン本体と接続する」(●▶P.16)
電源ランプがオレンジ色に点灯しており、メニューボタンを押しても、メッセージが表示されない	おやすみディスプレイが実行中である。	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。通常表示に戻ります。またはショートカットキーによりおやすみディスプレイをオフしてください。	『取扱説明書』

## 画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>文字の太さが場所によって異なる</li> <li>画面の内容が大きくぼやけて表示される</li> </ul>	パソコン本体の設定が1280×768よりも低い解像度になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合があります。最適な画面にするには「画面のプロパティ」で解像度を1280×768に設定してください。	『FMVの使い方』
電源投入直後や Windows の起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	パソコンからの信号が連続的に切り替わるため。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
以下のメッセージが表示される ・「サポート外のモードです」	本製品に適切な信号が入力されていない。	標準表示仕様のモード（解像度）に変更してください。	「標準表示仕様」 （●▶ P.50）および『FMVの使い方』
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	『FMVの使い方』
画面が明るすぎる	PC入力時の画質モードが、ビデオモード、シネマモード、カスタムモードのいずれかになっている。	画質モードをPCモードに変更してください。	『取扱説明書』
	明るさが最大になっている。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「明るさを調整する」 （●▶ P.37）
	あざやかウィンドウ設定で指定したソフトウェアを表示している。	通知領域（タスクトレイ）のあざやかウィンドウ設定アイコンを右クリックし、「あざやかウィンドウ表示しない」を選択してください。	『FMVの使い方』
画面が暗くなった	明るさが最小になっている。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「明るさを調整する」 （●▶ P.37）
	液晶は蛍光管を使用しており、寿命になると明るさが低下します。また、若干黄色くなることがあります。	有償にて交換させていただきます。詳しくは「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までご連絡ください。	—
	おやすみディスプレイが実行中である。	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。通常表示に戻ります。またはショートカットキーによりおやすみディスプレイをオフしてください。	『取扱説明書』

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
文字に違う色がにじんで見える	スクリーンフォントにClearTypeを使用している。	スクリーンフォントの設定を変更してください。	『取扱説明書』
	本製品の特性により、文字や線の色と背景色の組み合わせによって、稀に左記のような症状となる場合があります。	使用する文字（フォント）や線の色を黒または白に変更することで軽減されます。	『FMVの使い方』
画面を切り替えても前の像が薄く残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	本製品の電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。スクリーンセーバを設定することをお勧めします。	—
画面いっぱいに表示されない	パソコンの設定が拡大できないモード（解像度）になっている（標準表示仕様以外のモードになっている）。	パソコン本体の設定を標準表示仕様のモード（解像度）に変更してください。 ただし、640×400、720×400は画面いっぱいに表示できません。	「標準表示仕様」 （**▶P.50）および『FMVの使い方』
	ワイド画面切替が「ノーマル」になっている。	ワイド画面切替を「ワイド」に設定してください。	「表示サイズを変える」 （**▶P.38）
画面がちらつく	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードまたはガンマ補正を変更して、ちらつきの少ない画質モードを選択してください。	「画質を選ぶ」 （**▶P.33）および「画質を調整する」 （**▶P.39）
テレビ放送が映らない	アンテナケーブルが接続されていない。	アンテナケーブルを正しく接続してください。	「アンテナと接続する」 （**▶P.18）
	チャンネルが設定されていない。	チャンネル設定を行ってください。	「チャンネルの設定」 （**▶P.24）
	テレビ入力を選択されていない	モード切替ボタンおよび入力切替ボタンを押して、テレビ入力に切り換えてください	「テレビ放送を見る」 （**▶P.30）
テレビ放送の映像が不鮮明	電波の受信状態がよくない。	チャンネル設定の微調整で、最適になるよう調整してください。	「チャンネルを微調整する」 （**▶P.28）
	アンテナケーブルが正しく接続されていない。	アンテナケーブルを正しく接続してください。	「アンテナと接続する」 （**▶P.18）
テレビ放送の映像が二重、三重に見える	山や建物からの反射波の影響を受けている。	アンテナの位置、方向、角度を調整してください。	—
・テレビ放送の映像に斑点や縞模様が見える ・テレビ放送の映像が揺れる	自動車やバイク、高圧線、ヘッドライヤーなどの電化製品からの影響を受けている。	設置場所を変えてみてください。	—

## 音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	本製品のスピーカーの設定がオフになっている	消音ボタンを押して、スピーカーオン/オフを切り替えてください。	「各部の名称と機能」(●▶ P.9)
	音量が最小になっている。	メニュー画面が表示されていない状態で、⊕、⊖ ボタンで音量を調整してください。	「各部の名称と機能」(●▶ P.9)
	本製品にヘッドホンが接続されている。	本製品にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。	—
	パソコン本体の音量設定が最小になっている。	適切な音量に調節してください。	『FMVの使い方』
	パソコン本体の音量設定がミュートになっている(タスクバーに🔇と表示されている。画面の音量つまみのミュートが☑になっている)。	リモコン切換スイッチをPC側にした状態で消音ボタンを押すか、画面の音量つまみのミュートの☑をクリックして、☐にしてください。	『FMVの使い方』
ビデオ入力の音声ケーブルが接続されていない。	本製品および映像機器に音声ケーブルを正しく接続してください。	「映像機器と接続する」(●▶ P.20)	
ディスプレイの音量調整、またはスピーカーオン/オフが設定できない	液晶ディスプレイが省電力状態になっている。	キーボードまたはマウスを操作して、省電力状態を解除してください。	「省電力機能について」(●▶ P.47)
スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、PHSなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、PHSなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
入力切替時や電源投入時などに「プチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
チャンネル切替時に一瞬雑音が聞こえる	受信できないチャンネルを選択したため。	他のチャンネルを選択するかチャンネル設定を変更してください。	「チャンネル設定を変更する」(●▶ P.26)

## リモコンで操作できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
リモコンで操作できない	リモコンの電池が切れている。	リモコンの電池を交換してください。	『パソコンの準備』
	リモコン電池の極性（＋－）が逆になっている。	電池の極性（＋－）を正しい向きに入れてください。	『パソコンの準備』
	リモコン切換スイッチがパソコン側になっている。	本製品をリモコンで操作する場合は、リモコン切換スイッチをテレビ側にしてください。	「各部の名称と機能」（**▶ P.9）
	本製品の電源ケーブルまたはACアダプタが正しく接続されていない。	電源ケーブルまたはACアダプタを正しく奥まで確実に接続してください。	「電源を接続する」（**▶ P.23）
	リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている。	本製品の向き、設置場所を変えてください。	—
	リモコンの信号がリモコン受光部に届いてない。	リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。	—

## インジケータが点滅する

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
キーボード、マウスを操作すると、しばらくの間インジケータが点滅する	キーボード、マウスの電池残量が少なくなっている。	キーボードやマウスの電池を交換してください。	『FMVの使い方』

## あざやかウィンドウが実行されない

\*\*▶ 『取扱説明書』

## ツインテレビが実行されない

\*\*▶ 『取扱説明書』

## USB 機器が動かない

\*\*▶ 『取扱説明書』



# 14 省電力機能について

本製品はパソコンの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。省電力機能の設定によって、本製品の消費電力および電源ランプの状態が異なります。省電力機能の設定および復帰方法はパソコン本体の『FMV の使い方』をご覧ください。

		最大消費時	通常時	スタンバイ／休止状態時
消費電力		67W	54W	4W 以下
動作	画面表示	表示あり	表示あり	表示なし
	電源ランプ	緑色	緑色	オレンジ色

## POINT

- ▶「省電力機能」とは、パソコンの消費電力を抑えるための機能です。  
スタンバイ、休止状態の 2 種類があります。詳細はパソコン本体の『FMV の使い方』をご覧ください。
- ▶「最大消費時」の値は、スピーカーと USB コネクタを使用している場合です。  
「通常時」、「スタンバイ時」の値は、スピーカーと USB コネクタを使用しない場合です。

# 15 日常のお手入れ

## ■ 清掃する

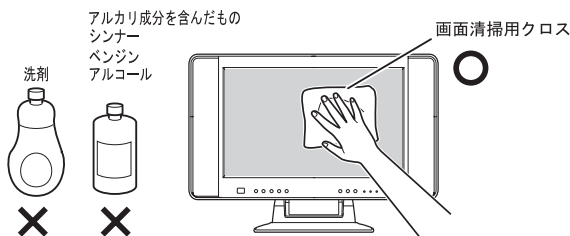
お手入れの前に本製品の電源を切ったあと、本製品に接続されているすべてのケーブルを抜いてください。

### 重要

- ▶ 市販クリーナーは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。
  - ・アルカリ性成分を含んだもの
  - ・界面活性剤を含んだもの
  - ・アルコール成分を含んだもの
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - ・研磨材を含むもの
  - ・化学ぞうきん  
など

## □ 画面の清掃

パソコン本体に添付の画面清掃用クロスで拭いてください。それ以外の物で拭く場合はガーゼなどの柔らかい布をご使用ください。

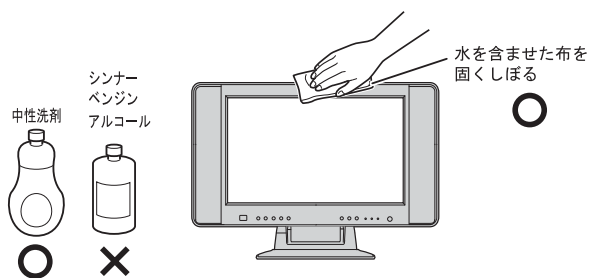


## □ 画面清掃用クロス使い方

- ・液晶表面の清掃用としてお使いください。
- ・ご使用になる際は、水や洗剤をつけずに乾拭き（からぶき）してください。
- ・汚れが拭き取れなくなったときは本品を中性洗剤にて洗濯してください。繰り返し使用できます。
- ・拭き取るときに無理な力は加えないでください。液晶の故障の原因となる恐れがあります。
- ・液晶表面についた砂やほこり等は傷の原因となりますのでよく払ってから拭いてください。
- ・洗濯機等で洗われる場合は素材によっては色移りする恐れがありますので、他の物と一緒に洗わないでください。
- ・煮沸消毒やアイロンがけはおやめください。
- ・廃棄する場合は廃プラスチックとしてお取り扱いください（素材：ポリエステル、ナイロン）。

## □ カバーの清掃

水または中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りのときには、本製品に水が入らないように十分注意してください。



## 標準表示仕様

モード	解像度	水平周波数	垂直周波数
1	640 × 400	31.5kHz	70Hz
2	640 × 480	31.5kHz	60Hz
3	720 × 400	31.5kHz	70Hz
4	800 × 600	37.9kHz	60.3Hz
5	1024 × 768	48.4kHz	60Hz
6	1280 × 768	48.0kHz	59.8Hz

モード（解像度）の設定のしかたは、『FMVの使い方』をご覧ください。

### POINT

▶ご購入時の設定（1280 × 768）でのご使用をお勧めします。

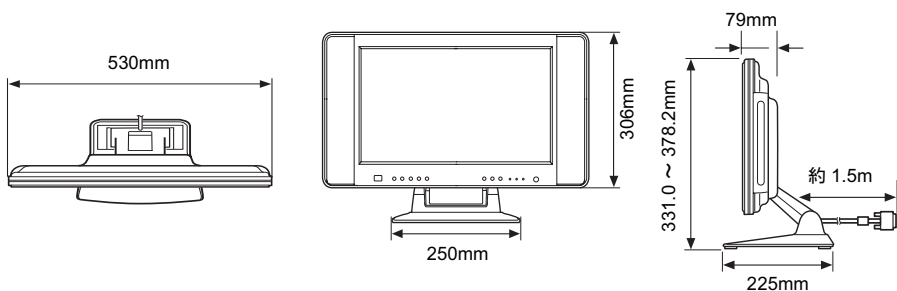
### 重要

▶上記の1280 × 768および1024 × 768（ワイド画面切替：ノーマル）以外の解像度では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったりすることがあります。これは、擬似的にフルスクリーン表示しているためであり、故障ではありません。

# 本体仕様

項目		仕様	
対応機種		FMV-DESKPOWER	
入出力 I/F	専用 LCD インタフェース	映像信号 : デジタル (TMDS)	
		DDC : DDC2B (VESA)	
		USB : アップストリーム × 1	
		電源 : DC5V	
		AUDIO IN : アナログ	
	USB	ダウンストリーム × 1	
テレビ	アンテナ入力 × 1、アンテナ出力 × 1		
ビデオ	ビデオ入力 (S ビデオ) × 1 ビデオ入力 (コンボジット) × 1 ビデオ音声入力 (右) × 1 ビデオ音声入力 (左) × 1		
ヘッドホン端子	32Ω インピーダンスのヘッドホンを推奨		
表示部	解像度	1280 × 768	
	液晶パネル	TFT カラー液晶	
	表示色	1619 万色	
	表示寸法	369.6mm (H) × 221.76mm (V)	
	画面サイズ	17.0 型 (対角 43.0cm)	
	画素ピッチ	0.289mm × 0.289mm	
機能	解像度	VGA、SVGA、XGA 640 × 400、720 × 400、1280 × 768	
	チルト	-28° ~ 30° (画面を一番下げたとき) 0° ~ 58° (画面を一番上げたとき)	
電源	入力	AC100V 50/60Hz	
	最大消費電力	67W (通常時 54W、省電力時 4W 以下)	
テレビ	受信チャンネル	VHF : 1 ~ 12 チャンネル UHF : 13 ~ 62 チャンネル CATV : C13 ~ C63 チャンネル	
	NTSC 入力仕様	コンボジット : 1V <sub>p-p</sub> 75Ω S ビデオ : 1V <sub>p-p</sub> 75Ω	
	TV 音声仕様	ステレオ、音声多重出力	
	コネクタ	アンテナ入出力端子 : 75Ω 同軸 F 型コネクタ × 2 ビデオ入力端子 (S ビデオ) : ミニ DIN4 ピンジャック ビデオ入力端子 (コンボジット) : RCA ピンジャック 音声入力端子 (右/左) : RCA ピンジャック × 2	
リモコン	通信方式	赤外線方式	
	使用可能距離	3m	
	乾電池の寿命目安		約 6ヶ月 (マンガン乾電池使用時)
	使用可能範囲	水平	約 30°
		垂直	上 : 約 10° / 下 : 約 40°
使用電池	単 3 乾電池 2 本		

項目		仕様
USB 部	仕様	USB Revision1.1 対応、セルフパワー電源
	供給可能電流	500mA (max) / 1 ポートあたり
	動作環境	Windows XP
	ポートコネクタ	ダウンストリーム：シリーズ A
スピーカー	方式	タイムドメインスピーカー
	スピーカーユニット	口径：φ32mm
	定格（最大）出力	3W × 2
外形寸法	530mm (W) × 225mm (D) × 331.0 ~ 378.2mm (H)	
質量	約 8.3kg (AC アダプタを含む)	
使用環境	温度 :10 ~ 35℃	
	湿度 :20 ~ 80% (RH)	
	(最高湿球温度 29℃ 結露しないこと)	



---

**FMV-DESKPOWER**  
**液晶ディスプレイ 17 ワイド TV (VL-17WVX2)**  
**ご使用の手引き**

B5FH-9721-01-00

発行日 2003 年 9 月  
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

---

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

# FUJITSU



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆油インキを使用しています。



\* B 5 F H 9 7 2 1 0 1 \*